



ゆうすい NEWS No.34

平成 21 年 2009. 9. 25 発行



三島ゆうすい会事務局 〒411-0037 静岡県三島市泉町 5-3
 Tel・Fax 055-981-5033 E-mail info@yusui.org
 URL http://www.yusui.org/
 ※事務局員は常駐しません。電話の方は、留守番電話にメッセージを。
 E-mail や Fax でご連絡いただくと助かります。

題字・詩人
大岡 信 氏

水の視察「醒井湧くわく街道・近江八幡水郷めぐり・ 一乗谷螢・越前大野名水探訪・飛騨高山・上高地の旅」



居醒（いざめ）の湧水を源流とする地蔵川の至るところにバイカモが群生。絶滅危惧種の淡水魚・ハリヨを守っていることにも一同感激。

平成 21 年 6 月 20 日～22 日、三島ゆうすい会主催の「水の視察」が開催されました。山岡修一顧問の企画は充実した内容で、各所に適切な案内説明者を依頼してあり、今回も参加者に大好評でした。また、好天で幸いでした。

滋賀県米原市の醒井（さめがい）水の宿駅で「地蔵川とハリヨを守る会」岡野錦司会長、米原市役所の平山健治さんらと会い、「醒井湧くわく街道視察」に出発。西行水、十王水、居醒の清水など、美味しい湧水も味わいつつ、地蔵川やバイカモの美しさと多さに魅了されました。



次に「近江八幡水郷めぐり」は手漕ぎ船で。水面を吹き渡る風の心地よさ、ヨシのそよぐ音、野鳥の声等、約

80 分の船旅は大満足の体験。塚田冷子会長は、皆にせがまれ一句「水郷の田舟朽ち果て夏終わる」。夜は、福井市の一乗谷の螢観賞。地元の方々と優雅に舞うゲンジボタルに心奪われました。「一乗谷ほたるの会」の吉田文武さんは、翌朝の「特別史跡・一乗谷朝倉氏遺跡」案内役も。福田淑子さんの事前の朝倉氏解説で、より興味深く見聞。



400 年も埋もれていた中世の城下町が発掘復元され、井戸や日本庭園の池など、水を大切にしていた人々の暮らしぶりとその規模に驚く。



「御清水（おしょうず）」での生活用水の話は貴重。「イトヨの里」で国の天然記念物の魚・イトヨの観察は、地元の子らに交じり夢中に。

福井県大野市では、観光ガイドに「越前大野名水」や寺通りを案内していただき、環境省の名水百選の御清水の美味しさも堪能。また、「本願清水（ほんがんしょうず）」とイトヨの学習施設も見学。各地が抱えている問題点にもふれることができました。話題の福井県立恐竜博物館見学後、最終日は、飛騨高山、上高地での梓川、河童橋、残雪の穂高等を見ての有意義な「水の視察」でした。

◆参加者（順不同・敬称略）：塚田冷子、小松幸子、秋山峰治、山本由美子、宇水勉、綾部訓子、岩田重理、木下秀彰、木下基夫、佐伯忠夫、中西康徳、福田淑子、山岡修一、山岡節子、渡辺金吾、青野雅枝、古田ドライバー

活動あれこれ

市内河川の水質検査を実施しました

6月7日(日)、第6回身近な水環境の全国一斉調査に参加し、市内4河川の水質調査を実施しました。調査ポイントは源兵衛川(芝橋・かわせみ橋)、御殿川(通学橋)、桜川(じゅらく橋)、大場川上流、中流、下流の計7カ所です。



測定に一生懸命

柴原俊介理事、塚田冷子会長、宇水勉理事、佐藤久美子理事

この日は「水とホテルのフェスティバル」の翌日あたり、何かと忙しい日程ではありましたが、塚田冷子会長、柴原俊介理事、宇水勉理事、佐藤久美子理事が参加し、宇水理事の指導で、CODや水温などを測定し、無事水質調査を終えることができました。当日は、前日の不安定な天気信じられないような快晴にめぐまれ、汗をかきながらの調査となりましたが、源兵衛川のかわせみ橋の木陰や桜川・白滝公園の水辺の涼やかさが際立って感じられました。

*今回の全国一斉調査の結果は、今後、全国水環境マップ実行委員会のホームページで公開されます。

三島市内の小学生がホテルの生態を見学

6月19日(金)に、西小3年生63人、同日に北小4年生140人、6月30日(火)、西小4年生3人の見学を受けました。

ホテルの幼虫を初めて見る児童が多く、ホテルの生態を写真を見せながら説明しました。



ホテルの成長の謎を聞く児童

3、4年生たちは、

脱皮する様子に「痛くないかな」「6回脱皮すると50歳で大人になるのかな」と面白い発想です。ホテル祭り(水と虫のフェスティバル)の時の幼虫を残しておいたので、しっかり尾脚まで見せることが出来ました。

9月3日(木)、向山」、6年生8人が見学に来ました。「三島調べ・三島の良さを発見しよう。人、もの、こと」の現地調査のホテル調べを受け持ちました。少人数なので座敷で、まず生態から始めました。6年生なので、次はホテルの棲める環境とその背後にある自然の大切さも話しました。

ミシマバイカモの学習に児童が来訪

総合学習でミシマバイカモについて学ぶため、三島市立向山小学校の6年生16人が、伊豆箱根鉄道を使って「三島梅花藻の里」に来訪し、小松幸子副会長が説明を担当しました。7月3日(金)の梅雨の晴れ間、児童たちは、可憐な白い花を咲かせているミシマバイカモにすっかり感激していました。「三島梅花藻の里」のほかに、近所に住む山口東司さんが毎日のように世話をしている源兵衛川のミシマバイカモも見学し、児童たちは次のような感想を書いてくれました。

◆思ったより小さくて「こんなに小さいんだ!」とびっくりした。◆外国からも見に来ているということで、ミシマバイカモがすごく有名だと分かった。◆ミシマバイカモは、とてもきれいだったので、これからはいい環境で育てていってほしいと思った。◆水がすごくきれいで、びっくりしました。1度入ってみたいになりました。◆冷たい湧水の流れのある川だけで育てているってことは、三島の環境は、いいんだと分かって良かったと思いました。◆きれいで、小さくて可愛かったです。ミシマバイカモを生で見たのは初めてでした。◆ミシマバイカモのことが良く分かりました。



▲「三島梅花藻の里」で記念撮影



▲源兵衛川の水面で揺らぐミシマバイカモも見学

後日、児童の礼状が学校より届けられました。当日は、電車での校外学習に児童だけで参加していましたが、礼儀正しく意欲的な様子に感心しました。先生からは、すぐにお礼の電話が入りました。

三島ゆうすい会 20 周年記念イベント事業

水よ輝け！映画祭「山のかなたに」対談

～水への思いを映画に～

この秋開催される、三島ゆうすい会 20 周年イベント事業、映画「山のかなたに」の撮影の思い出や当時の学生たちの様子など、奥水啓一さんと塚田冷子会長が語り合いました。

奥水さんは広小路で酒店を営む、三島生まれで三島育ちの「三島っ子」です。

先輩後輩のお 2 人。時の流れの速さに驚くこともありますが、映画の話から水への思いまで、三島の風景を大切にしたいという温かい思いが伝わってくる対談でした。



資料を見ながら当時の思い出が次々と。。。。

－「山のかなたに」はお話が昭和 22 年のことで、撮影されたのが 25 年でしたね？

塚田 「そうです。静岡県立三島南高等学校となって、戦後、男女共学高校になり、私がお話の第 1 期生です」

奥水 「私が高校 3 年生でした。映画のお話は、共学になる前のことでしたから、1 年から 3 年の男子生徒だけの出演となりました」

塚田 「女子は、撮影が珍しかったことや憧れの俳優さんを見ようと、撮影場所を追いかけていました」

奥水 「確か、学校は撮影の間（3 日間）休みになったんじゃないかなあ。校長先生がとても理解があったのだと思います。そういえば、第一高等学校（現在、静岡県立北高等学校）とうちの学校（第二高等学校＝三島南高等学校）との統合の話が持ち上がった時に、反対の署名を函南、伊豆の方まで広めて、何万人かの署名が集まりました。そんなふうに、校長先生をはじめ、とても情熱のある先生が多かったように思います。

選択科目があったでしょう。当時、県内で南高校だけだったんですよね。男子生徒は、女子生徒と一緒に授業をとれるようにと、考えたものです」

塚田 「その事は初めて聞いたわ。知らなかった（笑）本当に、学校には情熱のある先生が揃っていて、斬新

で先端をいっていた感じ。だから、映画への全面協力もできたのかもしれない。穂積忠校長先生は、出演料を全て生徒会の費用に入れてくれましたね！」



－映画の撮影で印象に残っていることは、ありますか？

話は尽きることなく

奥水 「狩野川の川原での乱闘シーンが印象深いです」

塚田 「バスケットの練習、大きな 3 本松のシーンも撮りましたよ。校庭での集会か何かのシーンも」

奥水 「そうでしたね、南小の校庭で撮りましたね。川原での乱闘シーンを撮った時に、実は私はグループに対して押さえつけるというか、反発するグループの 1 人だったんですよね。それがどうしたとか、反対側のグループに入っていて・・・。何がなんだか分からないうちに撮影が終わってしまったんです。事前に、どんなシーンを撮るのか説明をしてもらっていたんですけど、本番が始まったら言われたことを夢中でただけで、どんな風だったかというのは、よく覚えていないくらいです」

塚田 「映画の中の出来事は、時代に沿ったもので現実に近いものだった気がしますよね」

奥水 「自分の出たシーンを見ていない人もいますよ。どんなシーンになっているのか、ぜひみてみたいなあ」

塚田 「今回の映画祭で、風景や建物なども含めて、知ってる人も知らない人も当時を見るチャンスにしてもらいたいですね」

奥水 「场景といえば、三島の川も水が溢れていたね」



映画「山のかなたに」のシーン

スイカを冷やしたり、お茶碗を洗ったり、そんな風景が当たり前だったしね」

塚田 「水が冷たくて、泳いでもすぐ出てきたものでした。当時の三島を思い出して欲しいとも思います。昭和 25 年の三島を映画でぜひ、見て欲しいですね」

奥水 「同級生にも声をかけてみようと思っていました」

塚田 「懐かしい話や、今日初めて聞いたこともあって、とても懐かしく楽しい時間でした。ありがとう」

－映画の話から当時の三島の風景なども聞くことができました。上映に向かって準備の真っ最中。11 月 14 日（土）はたくさんの方が見てくださると良いですね。

第 25 回水とホテルのフェスティバル開催 三島ゆうすい会のメンバーも参加！

今年で 25 回目を迎えるホテル祭り。楽寿園での「水と螢のフェスティバル」も皆さんに知られるところとなり、今年も延べ約 1 万人の来場者を迎えました。

三島ゆうすい会からは、塚田冷子会長、小松幸子副会長、秋山峰治事務局長、大村洋子理事、佐伯忠夫理事、岩田重理理事、広川敏雄理事、青木利治理事、宇水勉理事、中西康徳理事、柴原俊介理事、坂井良重理事、大村皖伸さん、大庭治美さんが参加協力をして、イベントを盛り上げました。



ご案内も慣れたようす

例年通り、本部、正門、西門、南出口の案内、音響会場準備や売店をそれぞれが汗をかきながら務めました。今年初めての試みで、スタッフ全員が黄色の T シャツを着用しました。来場者からは「どこで、ホテルが見られるのか？」など、声をかけやすいと好評を得ていました。訪れた家族連れは、「チラシを見て、ホテルを子どもに見せてあげたくて、出かけてきました。すぐ近くで見ることができて、親子でとても感激しました」と言っていました。

三島ゆうすい会備品の引っ越し

塚田神経科医院の改築が予定されています。三島ゆうすい会では、医院内に置いてある三島ゆうすい会の備品を整理し、新しい倉庫へ引っ越すことになりました。

9 月 7 日（月）、午前 10 時半から分別作業を、塚田会長、小松副会長、秋山事務局長、岩田、佐藤、水野、大村の各理事で行いました。備品の確認作業をすとなかなか捨て難いものばかりで困りました。午後 1 時からは、中西、佐伯の各理事が加わり「オレンジ村」屋上の倉庫へ保存するものを搬送しました。思い切って捨てる紙ゴミと資蘇ゴミを清掃センターへ運び、午後 3 時頃、引っ越し作業第 1 段は終了しました。次回の作業は 2010 年 3 月頃に行う予定です。



作業の休憩時間

2009 年 11 月 14 日（土）12：30 会場 水よ輝け映画祭「山のかなたに」チケット 1,000 円 発売中！
問い合わせ先 三島ゆうすい会塚田玲子宅 055（975）0148 楽器のオレンジ村 055（971）4425

定例の清掃予定

- ★いずれの定例活動も自由参加です。ふるってご参加ください！雨天時は原則として休みです。
定例活動（作業等）I
- 宮さんの川清掃
原則として毎朝 6：00～
宮さんの川集合
長靴、軍手またはビニール手袋持参
「宮さんの川を守る会」とともに
- 源兵衛川のいづみ橋から広瀬橋までの草取りなど
原則毎週土曜日、日曜日の朝 6：00～
源兵衛川いづみ橋集合
長靴、軍手またはビニール手袋、草取り道具等持参
「三島ゆうすい会」有志とともに
- 源兵衛川清掃
原則として毎月第 2 日曜日 13：00～
水の苑耗地・かわせみ橋 集合
長靴、軍手またはビニール手袋持参！
「源兵衛川を愛する会」とともに

●桜川清掃

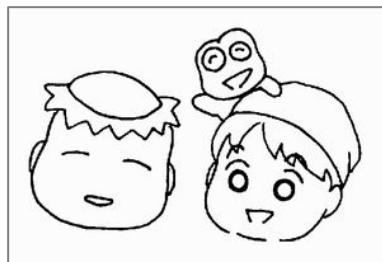
原則として毎月第 1 土曜日 10：00～
白滝公園集合
長靴、軍手またはビニール手袋持参
「桜川を愛する会」とともに

●三島梅花藻の里保全活動

原則として毎月第 2 日曜日 10：00～
三島梅花藻の里集合
長靴、軍手またはビニール手袋、草取り道具等持参

ご寄付・会費・資機材支援

☆皆様のご支援ご協力に心より感謝申し上げます



●会費ご入金

本年度会費（平成 21 年度分）の納入にご協力賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。（詳しくは同時の案内をご覧ください）

★未納の方は、いずれかの口座へご入金くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

〈年会費金額〉

・正会費 3,000 円

・賛助会費 1 口 10,000 円

〈お振込み先〉

・郵便振替 0840 - 4 - 118192

加入者名：三島ゆうすい会

普通預金 No. 0346532

・スルガ銀行三島セントラル支店

普通預金 No. 572969

・三島信用金庫西支店

普通預金 No. 1042399

口座名：三島ゆうすい会

会長 塚田冷子

